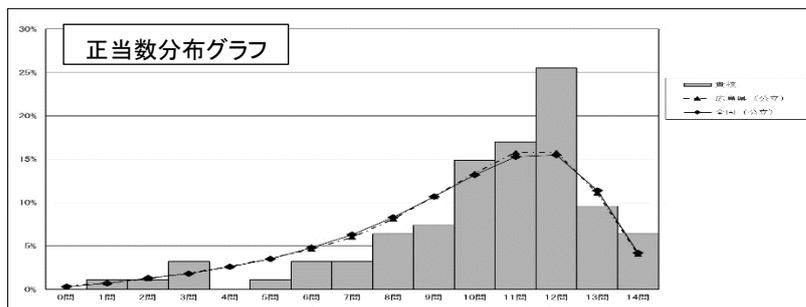


令和4年度 全国・学力学習状況調査等の結果と指導改善計画について

廿日市市立七尾中学校

国語

国語		
	平均正答率	平均正答数
本校	74%	10.3/14
広島県	69%	9.7/14
全国	69.0%	9.7/14



重点課題

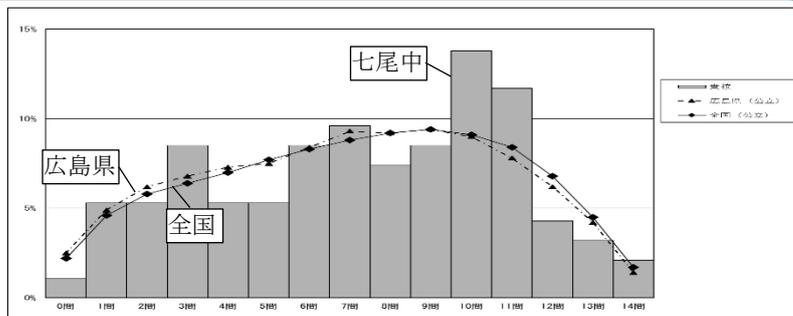
根拠を明確にするために、必要な情報を資料からの確に引用して書くことに課題が見られる。(正答率 44.7% 広島県 46.2%) また、書写において、どの行書の特徴を生かした書き方なのか選択することに課題がある。(正答率 40.4% 広島県 40.6%)

課題に対する指導方法等の改善

「根拠を踏まえて書くこと」の指導の際に、根拠となりうる情報を適切に選ぶこと、情報を引用する方法やルールを守ることなどを指導する。また、行書体の書写の指導では、点画の連続や筆順の変化等、教科の用語を用いて説明できるように指導を行う。

数学

数学		
	平均正答率	平均正答数
本校	52%	7.3/14
広島県	50%	7.0/14
全国	51.4%	7.2/14



重点課題

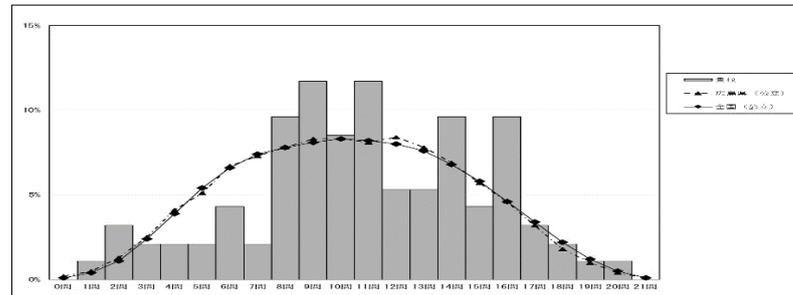
ある予想がいつでも成り立つかどうかを示すことについて、反例の意味を正しく理解できていない(正答率 34.0% 広島県 43.1%)。また、データの傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができていない(正答率 34.0% 広島県 48.3%)。

課題に対する指導方法等の改善

いつでも成り立つかどうかの示し方について、それが任意なのか、反例が存在するのかを踏まえ対話的に説明させる。また、ヒストグラムの各階級の度数、累積度数、最大値・最小値などの数学的な表現の特性を理解させ、それらを用いて自らの判断理由を対話的に説明させる。

理科

理科		
	平均正答率	平均正答数
本校	52%	10.9/21
広島県	49%	10.3/21
全国	49.3%	10.4/21



重点課題

○エネルギーと粒子の領域に課題がある。
 ・静止したおもりに働く重力とつり合う力(正答率 13.8% 広島県 12.8%)
 ・水素を燃料として使う仕組みの例のおもとのエネルギー(正答率 24.5%)
 ○「理科や科学技術に関係する職業」に関心を持っていない。(あまり 24.2%・全く 60% 広島県 あまり 28.9%・全く 48.8%)

課題に対する指導方法等の改善

○エネルギーと粒子の領域について。
 ・力を矢印として表現する活動と、現象とを関連づける。特に作用点の概念の育成をはかる。
 ・粒子に関する知識及び技能を、身近な現象と関連付けて探究する学習場面を繰り返し設定する。
 ○理科を学ぶ意義や、生活にどう役立っているかを具体的に考え、社会に貢献したいとの意識を育てる。

生徒質問紙（生活・学習アンケート）

①とくに肯定的回答が高い数値のもの

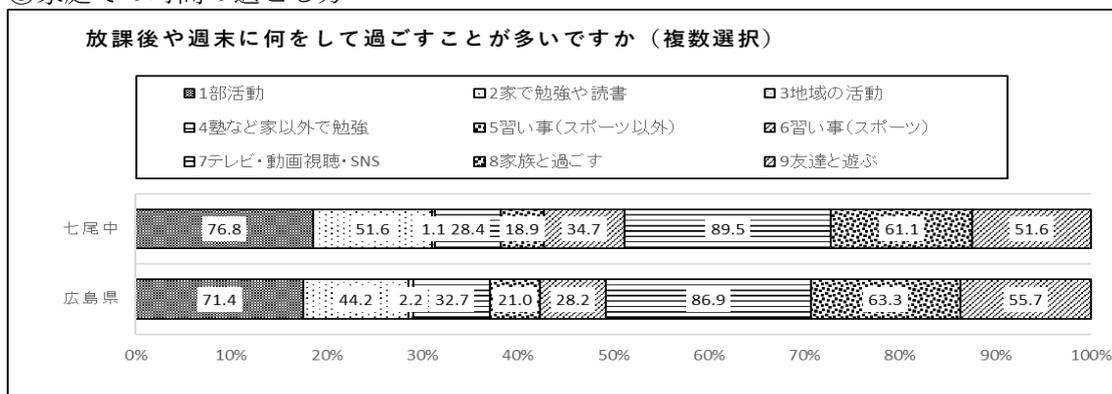
質問内容		本校	広島県	全国
先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか。	令和4年度	90.6%	87.7%	86.6%

※令和3年度は質問なし。

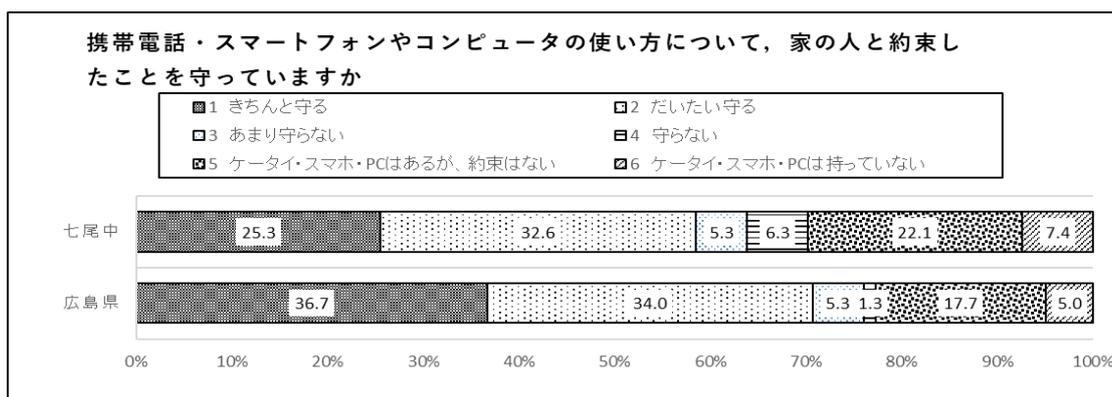
②とくに肯定的回答が低い数値のもの

質問内容		本校	広島県	全国
難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか。	令和4年度	57.8%	71.4%	67.1%
	令和3年度	72.4%	70.6%	65.9%

③家庭での時間の過ごし方



④スマホやPCの使い方ルール



実態分析と対応

①の結果から、90%以上の生徒が「先生からよいところを認められている」という思いをもっており、日頃の声かけや挨拶・掃除カード、バッチ等の取組が反映していると考えられる。②の結果から、「難しいことへのチャレンジ精神」を持つ生徒が、昨年度より減少していることが分かる。体験的な行事や全校での集会在制限される中、生徒が成長できる表現の場を工夫して設定していかなければならない。③の結果から、「家庭での時間の過ごし方」は、近年「テレビ・動画視聴」の時間が急増しており、スマホやPCの長時間の使用が心配である。また、④の結果から、家庭におけるスマホやPCの使用ルールが守られていない生徒がいるので、今一度、使用時間や使用ルールについて、家庭で確認をお願いする。

